

2. 例会終了後、理事会を開きます。

◎プログラム委員会

1. 29日例会は「会員1969年をおくる言葉として、皆様に反省その他を計画致しております。どなたでも結構でございます。」プログラム委員会の方へ申し出て下さい。

◎ニコニコボツクス

1. クリスマス家族会ご出席希望者は事務局の方へご連絡下さい。

◎映画「世界博ヘ」

◎ロータリーメモ

◇奉仕の理想とは何を意味するか

この理想を平易にすると奉仕の気持ちとなる。そこでその気持ちを延して行くことがロータリーの最も大切なもののだから、何事も他人の身になつて自らの職業に忠実な行動をすることこそ奉仕なのである。思いやりの心こそ奉仕なのだと解釈する向きもある。

◇R.I.会長の云う「検討し」は何を意味するのか

商業又は製造業であれば在庫品調べ、医師又はエンジニアは最近の刊行物に紹介されている新しい技術を研究する。教師であれば自分の今教えているのが正しいのかどうか確める。そう云うことが検討なのである。各クラブはこうした検討を定期的に行なうべきであり、奉仕の4部門におけるこれまでの活動の記録、あるいは活動の足りない点などを今直ちに検討することを希望している。

◇R.I.会長の云う「刷新」とは何を意味するか

無関心な人間は何事もなしとげる事は出来ない。何にも信じない人々は変化向上はありません。ロータリアンは奉仕団体の会員なのです。過去の業績に安んじることは出来ない、ロータリーの光栄をいつまでも輝かしくあらしめるには絶え間なくロータリーを刷新して行かなければならない。自分のまわりを見まわして下さい。なすべき必要な事が沢山あります。それを実行することが、クラブを、そしてクラブ全会員を刷新することになるのです。

◇あちこちのテーブルにつくことの意義

もし貴下が毎回同じ仲間とのみ談笑するならば、クラブ会員に同席の喜びを与えていないことになります。あちこち移動し頻繁にテーブルを変えて新しい交換を楽しんで下さい。クラブの和やかなロータリーの友好を増進することが大切である。

◎宝石の話「ひすい」

東洋人が昔からひすいにいたいた心情、これは西洋人とは自ずから異つた伝統的な崇拜にも似たもので、われわれ日本人も例外ではありません。ひすいは5月の誕生石で、無窮、恩愛を意味します。このようなむきたてのぎんのように半透明で、しかもみずみずしい青緑色のひすいを「ろうかん色」と呼んでいます。ひすいの光沢は独特のあぶらをぬいたような樹脂光沢です。

ひすいは独特な繊維状構造をしていて、「じん性」と云うねばつこさを持つています。それに欠けにくく、こわれにくい要素となっています。

産出地がビルマのしかも中国との国境地帯に限られていることと年々需要がふえていることから最近とくに高く評価されているのがひすいで値上りする宝石です。

次回例会日12月24日です。

次週プログラム

クリスマス家族会

REVIEW AND RENEW (F・コンウェイR.I.会長)
再検討 刷新しよう

Weekly Report

Hakodate North R.C.

例会日 毎週水曜日

12:30~13:30



例会場 函館市若松町拓銀ビル7階

五島軒駅前支店

TEL 23-3870

1969. 12. 24

1969~1970 第25号



深瀬鴻一郎会員

本日のプログラム
卓話「クリスマス家族会」

第二八〇回例会

◎出席報告

12.17 会員数 43名 出席 34名 欠席 9名
前回の出席 会員数 43名 出席 32名 欠席 11名 メーキャップ 8名 93.02%
他クラブ状況 函館R.C. 95.04% 函館東R.C. 97.59%

第279回例会記録

◎司会

外山定男会長

◎齊唱

それでこそロータリー

◎ゲスト

小松太郎氏 上磯町長

◎ビジター

大井安磨君(遠藤会員ゲスト、新会員予定者)

進藤和郎君(帶広R.C.鉄鋼販売)

函館R.C. 大沼平八郎君 外12名

函館東R.C. 出村喜作君 外5名

◎幹事報告

1. 当クラブ31日例会は、29日変更、お間違ひのないように。
2. 本日例会終了後、理事会を開きます。
3. 幹事報告は、特に大切なことのみ、お話申上げます。従いまして会員の皆様に掲示版をよく見て下さい。

◎ニコニコボツクス

1. 成田会員 15日駅前「函館ステーション・ホテル」落成おめでとうございます。

2. 24日クリスマス家族会のプレゼントがまだ届いてない方がおります。急いで事務所迄お届け下さい。

◎インタークト委員会

ラ・サール高校で、日本風のカレンダーを集めております。東京の本部に送り奨学資金にする予定です。会員の皆様にもご協力をお願い致します。

◎卓 話

「上 磯 の 使 命」

上磯町長 小松太郎氏

ただ今ご紹介いただきました。上磯町長でございます。極めて見識高い皆様を前にして、上磯町の使命をこういう機会に申し上げ、御協力と御理解をいただければと思いお引き受けしたわけでございます。さてこの函館市を中心にして亀田、七飯、大野、上磯これらは北も西も山で囲まれ、行政地域に分れております。從来町村、あるいは市と分れてあつた仕事を共同でやつて行く、つまり広域行政、広域経済と申しましようか、そういう云う様な一つの観点に立つて問題を考える。その場合に上磯町はどんな役目を果すものであろうかを、お話ししたいと思います。上磯のこの地域における役割は、裏をかえせば函館の将来はどこに向つて伸びていくかという解答がなければならないわけでございます。

すでに皆様、ご承知のように昭和60年を最終目標年度、昭和55年を計画年度としての函館を含むこの地域の総合開発計画は昨年の9月函館の多くの方の良識の結集の中から市長に答申書がでております。あの中では、この地域の人口は40万とおさえており、重工業の生産量が何百倍かになつてまいります。そこでこの60年をめどにして、函館が重工業を中心とした基地的な拠点的性格を形成するための要點は何かが問題であります。函館がこのような将来の進路をとるとすれば何か特長をおさえてやらなければならないでしょし、その特長が実現の可能性があるかどうかだと思います。この上磯町がいかにこれと力を合せるかということでございます。そこで冒頭で申しましたように、我々の広域行政とか、広域経済とか、広域文化という極めて抽象的な言葉を云うのは、容易でありますが具体的に進めるには地道な努力が必要であるばかりではなく、地域全体の方々の心からの共鳴がなくてはならない。もう一つは金でございます。おおよそ今の計画をやるのに9,000億円が必要でそのうち3,000億円が公共投資として国から導入されるわけです。どうぞ皆様におかれましては、上磯町はそういう立場にたつて、この広域行政を進めるために問題をふくみながらもとにかくこの地域を陸の孤島としないために以上のようなことが必要だと考えていると云うことをご理解頂きまして皆様のご見識と実践力、そういうものを上磯町長としてもお願ひ申し上げたいと思うのでございます

次回例会日12月29日です。

次週プログラム

「会員1969年をおくる言葉」

REVIEW AND RENEW (F・コンウェイR.I.会長)
再検討し 刷新しよう

Weekly Report

例会日 毎週水曜日

12:30~13:30



Hakodate North R.C.

例会場 函館市若松町拓銀ビル7階

五島軒駅前支店

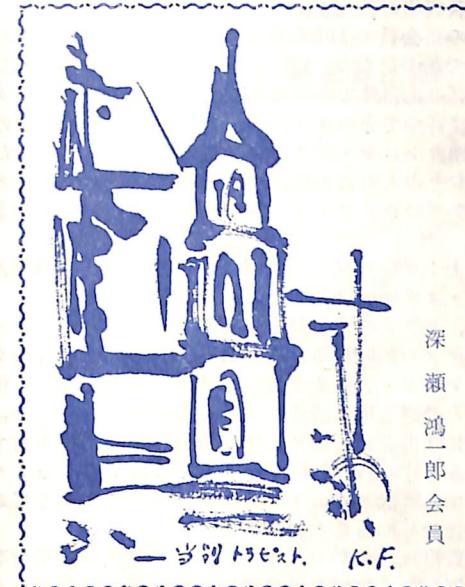
TEL 23-3870

1969.12.29 1969~1970 第26号

本日のプログラム

会員一九六九年をおくる言葉

第二八一回例会



深瀬鴻一郎会員

第280回例会並びにクリスマス家族会記録

◎齊唱 奉仕の理想

◎会長挨拶 外山定男君

◎クリスマス家族会開宴

出席会員数 34名 家族数 47名 招待 3名

◎情報委員会

ロータリーの初期の目標は利己であつたと云う人がある。或いはそうであつたかも知れぬ。但し自分生涯で最も非利己的で甘味であつた時代は1905年のシカゴクラブ時代であつたといつてゐる人もいる。ロータリーによつて実現した職業上の利益はともかくも凡の会員が実現し得た利益は友誼であつた。

(ポール・ハリス) 草創時のシカゴクラブの充実した姿が感じられ、眞のロータリーの理想をみる思いがします。

◎ロータリー用語

1. 正会員、職業分類の下にクラブ会員として選ばれ、国際ロータリーの定款及び細則に定められた会員としての総ての義務、責任及び特典を有するクラブの会員

2. アデシヨナル正会員、(1)クラブの正会員によりその所属する事業所の同僚幹部の中より推薦され、推薦者と同一の職業分類の下にそのクラブの会員として選挙され、又は(2)あるクラブに於いてその保持する職業分類該当の職業に其のクラブの区域内に於いて従事しなかつた故を以つて会員資格を失なつた元正会員で、何れかのクラブに於いて